

荒尾市の皆さまへ

次の時代を切り拓く!!



熊本県議会議員

【第6号】 令和7年4月発行

前田けいすけ県政報告

発行者 県議会議員 前田 敬介

発行所 荒尾市増永2900-18-1 TEL・FAX 0968-62-5221

ご
挨拶



県議会議員 前田 敬介

議 会

★総務常任委員会 副委員長
★海の再生及び環境対策特別委員会 委員

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃より心温まるご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

今年の2月の定例会では、一般会計当初予算約8448億円など91議案を可決・同意し本会議終了しました。合わせて、6回目の一般質問に立たせていただきました。その内容も含めて、報告書を作成いたしましたので、お時間ございます時にでも、ご一読いただければ幸いに存じます。

今後も熊本県政と荒尾市の発展のために、全力で努めてまいりますので、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

*** 定例会で一般質問 ***

《令和7年3月7日》

1 防災機能強化に向けた取り組みについて



本県の防災機能の更なる強化に向けて、現行の広域防災拠点構想を具体的に深めているのか?、また、被災直後から被害者支援を行う支援物資の備蓄の状況は?の2点です。1点目、広域防災拠点について、大規模災害発生時に隣県への支援を本県が被災県でありながらも具体的に実行していくため、今後どのように支援力を高めていくのか、知事公室長にお尋ねします。



答弁(知事公室長) 本県では、「九州を支える広域防災拠点構想」を策定し、九州の中央に位置するという地理的優位性など生かし

た支援体制の強化を図っている。県外応援訓練は、県内被害に対応しつつ他県への支援をおこなうため、体制の確保や手順の確認、応援本部行動マニュアルの作成等の支援体制の整備を図っている。



2点目、備蓄物資の充実についてです。現在、政府の経済対策において、備蓄物資の追加購入等に対する財政支援が本格化している状況と聞いています。今回の経済対策に基づいて、現在、市町村が備蓄物資の購入等を検討している段階と考えますが、県が把握している市町村の取組状況、県としての備蓄物資の追加購入等の検討状況等について、健康福祉部長にお尋ねします。



答弁（健康福祉部長） 国では、新たに全国7か所で災害用の国の備蓄物資を分散して備蓄することとされ、九州地域の拠点に本県消防学校の備蓄倉庫が選定された。大規模災害が発生した場所に、国の備蓄物資をいち早く被災地に送り、早期の被災者支援ができるよう、国との緊密な連携体制を構築し、大規模災害が発生した際に、本県が九州における広域防災拠点としての機能を十分に発揮して、国や九州各県など関係機関との連携を図り必要な取組を進め、全国の防災力強化に貢献していく。

※熊本県消防学校・益城町惣領にあります。

2 県の競技力向上を図る強化支援策について



昨年のオリンピックや国民スポーツ大会の躍進など本県関係アスリートの活躍が多く見られ、荒尾市出身の車椅子ラグビー乗松聖也選手・バレーボールの宮浦健人選手はじめ、県関係アスリートの活躍は、県民に感動と活力を与え、子どもたちに夢と希望をもたらしました。

近年では、ジュニアの世代から国際大会等へ出場し、活躍する選手が増えています。一方、近年の物価高騰の影響もあり、海外への遠征には非常に高額な遠征費が必要となります。金銭的な問題であきらめてしまうジュニアアスリートを生んではいけないと考えます。

国際大会等での活躍を目指すジュニアアスリートへの支援をはじめ、県の競技力向上を図るための強化支援策について、県としての取組について、お尋ねします。



答弁（教育長） 県教育委員会では、各種競技団体等と連携・協力し、ジュニア世代をはじめ、それぞれの段階に応じた取組みを充実し、世界で活躍するトップアスリートの排出につなげるため、競技力向上にかかる事業予算を拡充して本県議会に提出している。選手が遠征や合宿等を行う費用を補助する強化費を増額するとともに、くまもとワールドアスリート事業では、中学・高校・大学生を重点に、指定している選手の枠を拡充し、国際大会で活躍できるジュニアアスリートの育成をはじめ、本県の競技力向上に取り組む。

に、くまもとワールドアスリート事業では、中学・高校・大学生を重点に、指定している選手の枠を拡充し、国際大会で活躍できるジュニアアスリートの育成をはじめ、本県の競技力向上に取り組む。



【再要望】 前年度までの実績のみで、支援対象者を絞り込むと、前年度からは見間違えるような活躍をし、競技力が急成長した子がその伸びしろを失うことになります。是非、そのような子たちに対しても、経済的負担を軽減できるような環境を作っていただきたい。

3 岱志高校の魅力化に向けた教職員荒尾第二住宅の活用について



県内には、多くの教職員住宅が建設されていますが、交通網の発展などに伴い、遊休化している住宅もあると聞いています。このような中、定員割れが続く岱志高校には、スポーツコースがあり、野球部は、県外からの入学者を含め約21名の部員を誇るなど、運動部活動が活性化している兆しがあり、今後の岱志高校の魅力化に向けて、大きな可能性を秘めていると考えます。スポーツを通じて、広く県内外から部員の募集を行うことは、県外生徒の生活の拠点となる場所が必要不可欠であると考えますが、県の厳しい財政状況から勘案しますと、新たな学生寮などの建設は事実上困難であると考えます。そこで、代替え策として、高校のすぐ近くにある教職員荒尾第二住宅を活用し、県外からの入学希望者の住居として使用することはできないでしょうか。岱志高校近くにある教職員荒尾第二住宅の利活用の検討を、教育長にお尋ねします。



答弁（教育長） 岱志高校は、福岡県との県境に位置し、地域の協力を得ながら、魅力ある教育活動の充実に取り組んでいる。県外からの入学希望者の住居としての利用は、生徒の生活環境の確保や県有財産の有効活用といった面からも効果が期待される。今後、学校や同窓会など関係者との協議を行うとともに、施設管理運営主

体や費用負担など課題を整理しながら、**前向きに**検討する。



5棟全て空いている岱志高校職員宿舎

4 特別支援教育支援員に係る市町村への支援について



現在、県教育委員会では、多様な学びの場整備事業において、インクルーシブ教育システムの構築に向け、学びの場を検討するための考え方の整理や通級による指導の充実、担い手である先生方の特別支援教育に係る専門性の向上に取り組まれていると認識しています。市町村によっては、特別支援教育支援員の配置を積極的に行っていきたいとの意向を持っていて、市町村の財政負担が大きくなる為、支援を手厚くすることができない、財源不足という課題を抱えているとお聞きします。特別支援学級に籍を置く児

童生徒の中には、場面や状況によって個別的な対応が必要になるため、担任に加え特別支援教育支援員による支援が欠かせないものです。しかしながら、市町村の財政負担での対応となると、一定の制約の下で特別教育支援員を配置せざるを得ないという状況が県内市町村で散見されています。私の地元荒尾市でも同様の課題を抱えています。現場が必要とする特別支援教育支援員の数を確保できない状況です。そこで、特別支援教育支援員の地方財政措置額の拡充を県として市町村への支援を検討できないか、お尋ねします。



答弁（教育長）市町村の学校現場への支援として、現在、特別支援学校による巡回相談支援及び特別支援学級等の担任者を対象に専門性向上を目的とした研修を行っている。国に対し地方財政措置額の拡充を繰り返し求めている。令和7年度の当初予算要求では、令和6年度に比べ、小・中学校合わせて全国で3500人分の増加が行われる見込み。今後、支援員に係る各市町村の配置や運用の状況、課題等について実態を把握し、県としてどのような支援ができるのかを検討していく。

※インクルーシブ教育とは、障害や国籍・性別など様々な違いや課題を越えて、すべての子どもが同じ環境で学ぶ教育。

調査・議員活動



熊本県産業資源循環協会荒玉支部主催、不法投棄撤去作業活動



農林水産常任委員会管外視察（大阪市中央卸売市場等）



納涼祭、西野代議士と



荒尾新高梨品評会



若手議員の有志による佐賀アリーナ視察・佐賀県庁にて意見交換

5 有明海沿岸道路の建設促進について



昨年度は、荒尾北インターチェンジから南側2.2kmの「荒尾道路」が事業化され、長洲から玉名市区間の第2回計画段階評価が開催されました。予算面では昨年12月に成立した国土強靱化予算等により、三池港インターチェンジ連絡路においては、国の当初予算約19億円に6億円が増額補正されました。「荒尾道路」においては、調査建設が進められており、本事業においても、当初予算7千万円に3億円が増額補正されるなど、事業の加速化が期待されます。有明海沿岸道路の現在の進捗状況と早期整備に向けてどのように取り組まれていくのか、土木部長にお尋ねします。



答弁（土木部長）「三池港インターチェンジ連絡路」は荒尾市大島地区の高架橋工事が着実に進捗。下部工19基が完成し、橋梁の上部工工事にも着手。補正予算により大島地区の改良工事に着手され、「荒尾道路」は、測量や地質



競馬場跡有明海沿岸道路進捗写真

調査等が進められ、高架橋の設計にも着手予定です。これらの取組みを一層加速させるため、あらゆる機会を捉えて国への要望活動を行い、有明海沿岸道路全線の早期整備につなげる。

有明海沿岸道路（熊本県側）



◆予算の状況

(単位：円)

事業箇所	R5	R6
荒尾道路 (競馬場跡～一屋ガード)	3.5億	3.7億
三池港IC連絡 (三池港IC～競馬場跡)	21.4億	24.9億
熊本県 計	24.9億	28.6億



有治要望県選出国会議員団へ(写真：馬場せいし参議院議員)

熊本県議会議員

前田けいすけ事務所

〒864-0032

熊本県荒尾市増永2900-18-1

TEL・FAX 0968-62-5221

【ホームページ】<https://keisukemaedaooffice.com>